



大戸川ダムだより



第7号
2023年
10月発行

ダムサイトに設置した看板



～大戸川ダム建設予定地に看板を設置しました～

大戸川ダムの建設予定地については、「場所がよくわからない」というご意見を何度か頂いていました。これまでは旧計画におけるダム建設候補地（A～D）のうち、D候補地であることを示す看板が設置されていましたが、今回、6月に大戸川ダム工事事務所で職場体験を行った大津市立田上中学校の生徒4名がデザインした、ダム建設予定地であることを示す看板を新たに設置しました。

この新しい看板は大津方面・信楽方面のどちらから見ても大戸川ダムのイラストが大きく描かれており、この場所が建設予定地であることが一目で分かるものとなっています。

通行される機会がありましたら、ぜひご覧ください。

令和5年度事業実施予定位置図

※記載の工事・業務については、主要なもの（維持作業、水理水文調査、事務補助等を除く）を記載しています。

(R5.10.1時点)

※前号からの更新箇所は表中の赤字部分です。

工事契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
工①	大戸川ダム付替県道仮設物撤去工事	R5.1.7~R5.12.28	(株)金子工務店	栈橋・進入路の撤去
工②	大戸川ダム付替県道仮設構造物撤去他工事	R5.5.12~R6.3.29	(株)金子工務店	栈橋・進入路の撤去



調査契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
調①	大戸川ダム環境調査業務	R4.9.23~R5.9.20	(株)長大	環境調査(冬・春)
調④	大戸川ダムボーリング調査その1業務	R5.4.18~R5.11.30	大日本イコノコンサルタント	ダム本体の地質調査
調⑤	大戸川ダムボーリング調査その2業務	R5.4.25~R5.11.30	日本工営(株)	ダム本体の地質調査
調⑥	大戸川ダムボーリング調査その3業務	R5.4.20~R5.11.30	(株)建設技術研究所	ダム本体の地質調査
調⑦	大戸川ダム環境調査その2業務	R5.5.27~R6.2.29	日本工営(株)	環境調査(夏・秋)
調⑧	大戸川ダム漁業補償調査等業務	R5.5.12~R6.2.29	(株)キミコン	漁業実態の調査
調⑨	大戸川ダム貯水池ボーリング調査その1業務	R5.8.8~R6.2.16	大日本イコノコンサルタント	ダム貯水池内の地質調査
調⑩	大戸川ダムボーリング調査その4業務	R5.9.12~R6.3.20	大日本イコノコンサルタント	ダム本体の地質調査
調⑪	大戸川ダムボーリング調査その5業務	R5.9.14~R6.3.20	(株)ニュー・エック	ダム本体の地質調査
調⑫	大戸川ダムボーリング調査その6業務		(契約手続中)	ダム本体の地質調査
調⑬	大戸川ダムボーリング調査その7業務		(契約手続中)	ダム本体の地質調査
調⑭	大戸川ダムボーリング調査その8業務		(契約手続中)	ダム本体の地質調査
調⑮	大戸川ダム貯水池ボーリング調査その2業務		(契約手続中)	ダム貯水池内の地質調査

設計・検討契約一覧

※調②、調③は完了しました

番号	件名	期間	請負業者	概要
設①	大戸川ダム概略設計業務	R5.2.23~R6.3.22	(株)ニュー・エック	ダム本体の設計他
設②	大戸川ダム地質総合解析業務	R5.4.11~R6.1.31	(株)ニュー・エック	ダム本体の地質解析
設③	大戸川ダム環境影響検討業務	R5.4.8~R6.2.29	日本工営(株)	環境影響の検討
設④	大戸川ダム地域振興支援業務	R5.4.19~R5.12.28	(株)エリカコンサルタンツ	事業用地利活用検討
設⑤	大戸川ダム栗東信楽線北部道路詳細設計業務	R5.5.2~R6.3.29	中央復建コンサルタンツ(株)	付替県道栗東信楽線の設計
設⑥	大戸川ダム工事用道路詳細設計他業務	R5.5.11~R6.3.29	(株)エリカコンサルタンツ	工事用道路の設計
設⑦	大戸川ダム環境影響とりまとめ業務	R5.7.27~R6.5.27	日本工営(株)	環境影響のとりまとめ

【コラム】大戸川ダムの環境調査①

- ✓ 環境に大きな影響を及ぼすおそれがある事業は「環境影響評価法」や都道府県の条例に基づき環境影響評価の実施が義務付けられています。大戸川ダムはその対象ではありませんが、過去から自主的に環境への影響について検討を行い、結果を公表(H4、H17)しています。
- ✓ これまでに行った工事用道路・付替県道の工事では、動植物と生態系調査の結果をもとに「濁水処理設備の設置」、「動物の移動経路の確保」、「植物の移植」などの保全措置を行ってきました。



▲濁水処理設備(沈砂池)



▲小動物の移動に対する配慮



▲植物の移植

- ✓ しかし前回(H17年度)の公表から時間が経過していることや、流水型ダムに変更となったことをふまえ、学識経験者から指導・助言を受けつつ改めて自主的に環境への影響について再確認を行うこととしています。
- ✓ 現在、改めて現地調査や文献調査を実施し、事業実施による環境への影響を予測・評価するために必要な情報を収集・分析しています。(次号へ続く)

◆大戸川ダムが進捗状況（令和5年10月時点）



イマココ

工事

8月末時点



9月末時点



- ✓ 9月末時点で、工①は約93%（8月末時点は約80%）、工②は約25%（8月末時点は約18%）の進捗状況となっています。

調査

- ✓ 環境調査では、夏の調査（6～8月）が完了し、秋の調査（9～11月）を実施中です。
- ✓ 地質調査では昨年度から行ってきたダムサイトの調査に加えて、洪水調節地内、斜面を対象とした調査も開始しました。

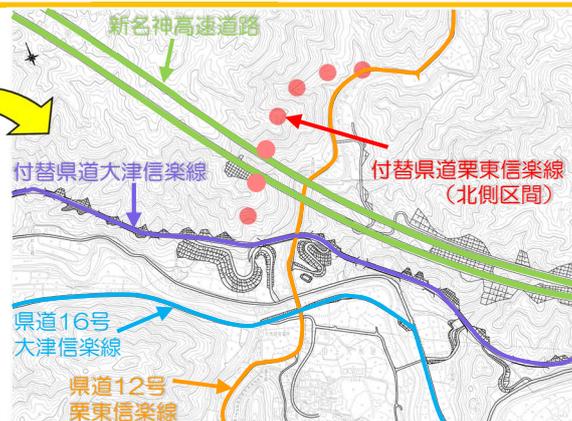
設計・検討



ボーリング調査



測量の様子



- ✓ 付替県道栗東信楽線の早期着工に向け、北側区間の詳細設計及びルート検討、測量、ボーリング調査を行っています。
- ✓ ダム本体の概略設計業務では、放流設備などの設計に加え、工事に必要な仮設備（工事用道路、転流工など）の設計も進めています。

【発行】

国土交通省 近畿地方整備局
大戸川ダム工事事務所

〒520-2144 滋賀県大津市大萱1-19-32
TEL 077-545-5675（代表） FAX 077-543-5340
事務所webサイト <https://www.kkr.mlit.go.jp/daido/>
X（旧 Twitter） @daidogawadam



webサイト



X（旧 Twitter）



大戸川ダム

大戸川ダム

検索